

学校名 川内南中学校 校長名 霧島 一浩

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価			学校関係者評価委員による評価(集約)				
			評価(数値平均)			主な意見				
1	(1)	校長の学校経営方針等が保護者や地域に伝わっている。	段階	人数	平均	○3学期にホームページをリニューアルしたので、今後、内容の充実に努める。 ○安心・安全メールを積極的に活用する。	段階	人数	平均	・安心安全メールが効果的に活用されている。 ・地域に出向き詳しく説明をされている。
			A	4	2.9		A	3	3.5	
			B	24			B	3		
			C	4			C	0		
			D	1			D	0		
2	(1)	望ましい子供の姿(知・徳・体)に向かって数値的目標を設定し努力している。	段階	人数	平均	○予備時数等を活用して、学力向上タイムを実施し、学び合いの時間を確保。 ○体力運動能力調査で県平均を目指す。	段階	人数	平均	・学級PTA時等で適宜アナウンスされている。
			A	8	3.0		A	2	3.3	
			B	18			B	4		
			C	6			C	0		
			D	1			D	0		
3	(2)	子供たちは、楽しそうに生き生きと学校生活を送っている。	段階	人数	平均	○本年度と同様に、次年度もソーシャルスキル・グループエンカウンター等の研修を実施し、学級づくりの充実に努める。	段階	人数	平均	・よい環境だと思われる。
			A	10	3.3		A	3	3.6	
			B	23			B	2		
			C	0			C	0		
			D	0			D	0		
4	(2)	いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	段階	人数	平均	○いじめに関するアンケートを定期的の実施し、早期発見に努める。 ○スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等、関係機関と積極的に連携を図る。	段階	人数	平均	・個別のケースに関係機関と連携した対応をされている。 ・アンケートでは正直な気持ちを伝えられない生徒もいると思うので、丁寧な対応が必要であると思う。
			A	12	3.3		A	2	3.3	
			B	20			B	4		
			C	1			C	0		
			D	0			D	0		
5	(3)	子供たちの安全(登下校時、自然災害時)について細心の注意を払っている。	段階	人数	平均	○登下校の安全指導は、様々な機会を活用して繰り返し指導を行う。 ○学校運営協議会や地域との関係機関とよく連携をとりながら地域の情報収集を行う。	段階	人数	平均	・自転車通学のマナーに課題がある(危険を感じることもある)。 ・自転車の登校指導、不審者情報の発信等しっかりされている。
			A	12	3.3		A	3	3.3	
			B	19			B	2		
			C	2			C	1		
			D	0			D	0		
6	(4)	教職員は、子供や保護者、地域との望ましい関係を築いている。	段階	人数	平均	○コロナ禍の中で、保護者・地域との連携について工夫した取組を検討していかなければならない。	段階	人数	平均	・コロナの影響もあり、連携ができていない。 ・やや個人差は感じられるがやむを得ないと思う。
			A	7	3.1		A	1	3.0	
			B	21			B	3		
			C	5			C	1		
			D	0			D	0		
7	(5)	学校は常に整理整頓、清掃され、花や緑に囲まれている。	段階	人数	平均	○エアコンの室外機設置により、次年度以降学級園を変更(準備中)。 ○トイレ清掃については、次年度も地域のボランティア団体へ協力を依頼。	段階	人数	平均	・よい環境と思われる。
			A	11	3.2		A	5	3.8	
			B	18			B	1		
			C	4			C	0		
			D	0			D	0		
8	(5)	学校の施設・設備は定期的に安全維持管理のための点検等がなされている。	段階	人数	平均	○毎月の安全的を確実に実行し、迅速な対応を心がけている。 ○川内建築4団体によるボランティア活動でたくさの修繕等をしていただいた。	段階	人数	平均	・老朽化による校舎内に不備があるように感じる。 ・点検等はしっかりと対応できている。
			A	17	3.5		A	5	3.7	
			B	15			B	0		
			C	1			C	1		
			D	0			D	0		
9	(7)	子供たちの学力や体力の実態が保護者や地域によく知らされている。	段階	人数	平均	○本年度の鹿児島学習定着度調査については、保護者や学校評議員に示していきたい。 ○体力調査についても保護者等に示していきたい。	段階	人数	平均	・適宜、情報提供がされていると思う。
			A	3	2.7		A	3	3.4	
			B	18			B	4		
			C	12			C	0		
			D	0			D	0		
10	(7)	保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っている。	段階	人数	平均	○コロナ禍の中で、様々な活動が中止になっている。可能は範囲で、支援等をお願いしていきたい。	段階	人数	平均	・地域の学校支援に対する熱意はある。
			A	5	2.8		A	1	3.0	
			B	18			B	4		
			C	10			C	1		
			D	0			D	0		

様式6 令和2年度 学校関係者評価結果

No. 2

学 校 名
川内南中学校

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価			対策・改善点	学校関係者評価委員による評価(集約)			
			段階	人数	平均		段階	人数	平均	主な意見
11	(6)	小中一貫教育は、積極的に実践され、子供たちの姿として現れている。	A	8	3.0	○コロナ禍で、部活動体験や中学校の学習発表会での小6の発表等、中止になっているが、小6・中2の交流学习(6・8交流)は、2月に実施予定。	A	1	3.0	・コロナ禍でやむを得ないところはある。 ・小中間の連携はしっかりととれている。
			B	16			B	4		
			C	9			C	1		
			D	0			D	0		
12	(6)	薩摩川内元気塾は、子供たちに夢や元気を与えてくれている。	A	11	3.1	○1年は職業学習会(5つの事業所)、2年は立志講演会(樋脇精工)、3年はマナー講座(鹿児島高校)を実施。キャリア教育のよき機会となった。	A	3	3.5	・よいテーマで、元気塾が取り組まれている。
			B	15			B	3		
			C	6			C	0		
			D	1			D	0		
13	(6)	英語教育の推進について、小・中学校の特質を活かして充実が図られている。	A	7	2.9	○英語の研究授業に校区内の小学校教諭も参加する等、情報交換等の機会が増えてきている。	A	4	3.7	・現状で、ベストな対応をされている。
			B	18			B	2		
			C	7			C	0		
			D	1			D	0		
14	(2)	子供たちは、学校や地域で進んであいさつをしている。	A	4	2.6	○生徒会と連携して、あいさつ運動に取り組んでいる(A RM*S:アームズ)。○地域においても、大人からの声かけをお願いしていきたい。	A	1	3.0	・無言ですれ違う生徒も見受けられる。家庭での習慣だと思おう ・大多数はしっかりとできている。
			B	11			B	4		
			C	18			C	1		
			D	0			D	0		
15	(8)	服務規律の厳正確保と校務の整理について、全職員の理解と実践がなされている。(自分のこととして捉えている。)	A	18	3.5	○服務規律については、新聞等を活用しながら繰り返し、指導を行っている。 ○研修係と連携して、参加型の研修会が実施できた。	A	6	4.0	・特に問題や課題は感じられない。
			B	14			B	0		
			C	1			C	0		
			D	0			D	0		

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校教職員の評価を平均(小数第1位まで)

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校関係者評価委員の評価を平均(小数第1位まで)

<学校関係者評価結果及び委員の意見等をふまえた次年度の改善点と対応策>

- ・頻繁に学校に出入りしているのではないので、学校職員の評価を参考にして評価しました。

## 1 学校運営協議会実施後の成果について

・学校の現状を理解してもらい、学校設備改善に向けて、物理的な協力と助言をいただいた。

・学校外の情報や外部からの声を聞くことができ、後半の学校経営に生かすことができた。

・学校長の学校経営方針に対して、教職員の教育活動による成果・自己評価により、振り返りができるので、今後の学校運営に対し、より信頼される学校づくりができると思う。

・協議会で出された意見、感想等を職員会議やそれぞれの委員会で検討させ実施されている点が見られた。

・地域や保護者に要請や要望を出していただいた事によって、子供たちが安心安全な学校生活、地域生活を送っている現状が大変良い成果だと思います。

## 2 学校運営協議会実施後の課題について

・学校関係者評価の意見の中に、「関わりがないので評価できない」あるいは「見ていないので何ともいえない」との声があった。各項目に関する説明が足りなかった。

・コロナ禍で大変な時ではあるが、子供たちのために学校・保護者・地域が同じ目標に向かって取り組んでいくべきだろう。

・具体的に何か決めて活動してはどうか。

・下校時は青パト隊の協力を得て、見守り、挨拶、交通指導を計画してもらいたいです。

・学力向上についての問題が出されていましたが、小学校からの継続ということも含め、家庭への啓発を促すことが大いに必要かと思えます。

・運営協議会の委員として、学校の運営状況を地域に情報として発信できていないことが課題と考えており、次年度は情報発信できる様にしたい。

## 3 令和3年度の学校運営協議会を充実させるための手立てについて

・全体協議会と学校ごとの会に分かれて実施したことで、小中一貫としての協議会の役割と各学校での課題を捉えるための協議会の二つの良さが確認できた。

・今のような形で課題にすぐに取り組んで、解決の糸口を少しでも協議会で見出せたらよいと思う。

・教職員の悩みはどんな事なのか。どの方法で先生方のストレスを無くしていけばいいのか。解決していけば先生方も気持ちよく仕事してくれるのではないかと思う。

・令和2年度の課題を取りまとめ、対応策の案を提示してほしい。

・会の時だけではなく、行事等に呼んでいただき、学校と接する機会をつくってほしい。

・学校、保護者、地域が協力してできる子どもたちへの支援（イベント）を話し合っていきたい。

## 4 その他

・コロナ禍により、飲み会によるコミュニケーションがとれないのが残念である。